

平成 30年 3月 19日

## 平成 29 年度科学研究費補助金学内奨励金研究成果報告書

武庫川女子大学  
武庫川女子大学短期大学部  
学長 糸魚川 直祐 様

所属・職 看護学部・助教

氏 名 宗岡 千晴

印

(予算科目： 219\_915 特[研]奨励 宗岡)

平成 29 年度に採択された科学研究費補助金学内奨励金研究について、次の成果を得ましたので報告いたします。

### 記

- 1 研究課題名 [ 精神障害者の家族が訪問看護を受け入れるプロセス ]
- 2 平成 30 年度 科研費に応募した研究種目名称 [ 若手研究 ]
- 3 研究成果概要 (800字以上 )

1. 本研究の目的
本研究の目的は、精神科訪問看護を利用する精神障がい者の家族の語りを通して、家族が訪問看護を受け入れるプロセスを明らかにすることである。
2. 研究方法
本研究は武庫川女子大学倫理審査委員会で承認が得て実施している(承認番号No.17-45)。精神科に特化した訪問看護ステーションへ研究協力を依頼し、1施設の訪問看護ステーションの管理者から紹介を受け、研究対象者1名のインタビュー調査を実施した。
3. 研究の成果
現在、インタビュー調査実施中であるため、分析の途中経過を報告する。今後も研究テーマを追求してインタビュー調査を継続していく。
①訪問看護導入期
医師からの勧めで訪問看護の利用を開始した。家族は訪問看護に期待を感じていた。
②訪問看護利用初期
訪問看護が始まった頃は利用者に変化がみられ、家族の訪問看護に対する期待はますます高まった。
③現在
訪問看護を利用して数年経過したが、家族が望むような利用者の変化が見られなくなった。しかし、家族は訪問看護師の家族支援の効果は感じつつある。

- 4 公開した研究成果 (学術論文・口頭発表等) 有 ・  無

※「有」の場合は、論文抜刷、口頭発表要旨等を添付してください。

(注1) 本紙に様式6号を添付のうえ所属長に回覧後、提出してください。

(注2) 平成29年度報告書の研究開発支援課の受付期日は平成30年3月29日(木)とします。

(注3) 提出のあった様式7号は、一部マスキングのうえPDF化してそのままホームページに公開します。

(注4) 提出されない場合は科研費学内奨励金規程第17条違反として第19条に基づき奨励金を返還いただきます。